

## 奥州街道 八丁目宿の面影を訪ねる



**まつかわ提灯祭り**  
 昭和33年から続く松川町の一大イベント。八町連合と東部四町連合の計12台の提灯山車が街なかを彩ります。

**⑩六地藏道標**  
 高さ1.5mの道標の火袋に6つの地藏が彫られています。元禄8年(1695)の銘があり、奥州街道と相馬街道の分岐点でした。



**⑨諏訪神社**  
 由緒や勧請については定かではありません。享保年間に諏訪原(現在の松川小学校)から移されたといわれます。大鳥居は天明3年(1783)に建てられました。




**⑧盛林寺**  
 曹洞宗で陽林寺(福島市小田)の末寺です。何度か火災で焼失したのち現在に至っています。梵鐘には「孝念百音」と草野心平の銘が刻まれています。




**⑦本陣**  
 本陣とは、幕府の公用役人や諸大名・公家・旗本などが宿泊する施設でした。弘化3年(1846)より安政までの宿泊記録では、松前藩(北海道)や津軽藩(青森県)などの12藩に及び宿泊や休憩、支払金が記載されています。また、前日の宿泊地は桑折宿が、次の宿泊地の予定は本宮宿が多いことが分かります。現在は、ガソリンスタンド(桜内商店)となっています。





水原川沿いの道は安達太良山と吾妻山の両方を楽しめる絶景ポイント! 目の前に広がる田園風景も見事で癒されること間違いなし!

**①土合館公園**  
 伊達輝宗の家臣で八丁目城主であった清野備前守が隠居して構えた土合館の館跡で、現在にはあじさいの時期に賑わう都市公園です。八丁目城の「西館」に対して「東館」や「隠居館」とも呼ばれました。



**②天満天神宮**  
 学問の神様である菅原道真公が祀られており、境内には筑紫太宰府より拝受した「飛梅」が奉納されました。しかし枯れたため、現在の飛梅は太宰府天満宮より贈与された二代目です。



**③西光寺**  
 真言宗の寺で創建時は松川町字本西にあったようですが、焼失し、17世紀末頃に現在地に再建されたといわれます。本尊の阿弥陀如来像は宝暦10年(1760)に東大寺から迎えられたもので県指定の重要文化財です。




**⑥常念寺の石碑**  
 浄土宗の寺院でしたが焼失して、現在は「南無阿弥陀仏」と刻まれた高さ2mを超える3基の石碑が建てられています。



**⑤八丁目城址**  
 16世紀前期に伊達種宗(政宗の曾祖父)が築城したと伝えられる山城です。標高250mの山の上には東西40m、南北50mの本丸跡の平場があり、その下には空堀跡がみられます。



昭和11年 八丁目城址から土合館を望む

**④めがね橋**  
 旧八丁目宿の中心を西から東に流れる水原川(旧松川)に架かる橋です。昔は板土橋でしたが、明治18年10月10日に地元浅川の石材を使った空石積工法で完成。正式には松川橋ですが、めがね橋という愛称で親しまれています。


